

特集

いまから始める協同学習

【対談】協同学習的アプローチは、

なぜ教員と学生を生き生きさせるのか 安永 悟, 近藤麻理

学校ぐるみで取り組んだ協同学習 寺田由紀子

協同学習で学生が変わる——学生の学び合いと教師の同僚性 佐々木美奈子

5年一貫看護師養成課程における

協同学習を取り入れた基礎看護技術教育の実践例 難波寛子

協同学習の学び方——日本協同教育学会のワークショップを通して 関田一彦

第2特集 学生論文

【連載】

臨地実習指導者の役割・2 山田聡子, 太田勝正

看護学校管理・運営のための12のポイント・5 江川万千代

看護教育に協同学習法を取り入れる・5 緒方 巧

富山県の「専任教員キャリア形成プログラム」作成への取り組み・5(最終回) 宮本眞弓ほか

我らカルガモ! 育児学生日記・8 柴田明子

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・8 片山紀子

実習の経験知 育ちの支援で師は育つ・24(最終回) 新納美美

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・52 喜吉紘子

編集後記

©編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●私は時代に逆行して(!), SNSにあまり近寄らないようにしています。以前 mixi に参加していた頃、いい気になって友達を増やした結果、それぞれの書き込みへの返事、その返事への返事だけで疲れて、結局脱退してしまったという苦い経験があるからです。当時は異業種交流もはやりで、ひたすらパーティに出たり開いたりしている友人が、「交流すること」に追われすぎて、その交流を活かすヒマがない、という状況に陥っているのを見ていたのに、同じようなことをネット上でもやってしまったというわけです。●結局、1人の人間が使える時間やエネルギーは限られています。友達を100人作っても、全員と関係を維持するのは並大抵のことではありません。「交流」自体が目的でない限りは、友達はそんなにはもてないものだ、私は感じています。 ……大野

●既存の SNS は日々その機能を拡張し、また新たなサービスも次々に誕生しています。さらに、「腕時計型」や「メガネ型」など、スマホの存在を脅かすデバイスの開発についても盛んに報じられています。本特集の内容も来年には遠い過去の話となっている可能性さえあり、リスク管理という視点からは悩ましい限りです。●しかし、時代が求めるのは、対象者の生活様式や文化を理解・尊重し、専門職として生涯にわたって学習し続ける看護師。であるならば、その育成にあたる教員も、学生の使う情報通信技術をよく理解し、その積極的な利用に向けて際限なく知識を更新し続ける、そんな覚悟を決めるときなのかもしれません。有用な方法論に危険(リスク)があるのは当たり前。ただ怯え躊躇するのではなく、いかに管理しながら活用するかを考える足掛かりとしていただくことを期待します。 ……加藤

看護教育 第54巻 第7号 2013年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

1部定価 1,470円(本体1,400円+税5%) 2013年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ 16,250円, 冊子+電子版(個人) 19,250円, 冊子+電子版(共有) 21,700円, 電子版/個人 16,250円,

電子版/共有 18,800円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつと事前に, (株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/13/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

Vol.54 No.6

2013年6月
特集

クリティカルシンキングは 終わらない

20世紀末に本格的に日本に入ってきたクリティカルシンキングの概念ですが、なぜか、その後10年ほどあまり耳にする機会がなくなっています。看護界においても同様で、一時は教育・管理の分野で注目を集めました。現在はあまり言及されることがありません。

ベナーやカルペニートら看護理論家たちは、最近の著書でもその重要性を認めています。日々「問題」を解決していかなくてはならない看護師にとって、クリティカルシンキングの重要性は増しこそすれ、減じているとは思われません。なのに、この状況はどうなのでしょう？

今回の特集は、なぜクリティカルシンキングは最近人口に膾炙しないのかを考えようとして、看護および教育における重要性を改めて認識していただくことを目的に組まれるものです。読者の皆さんに、日々の現場にクリティカルシンキングを取り入れていただくために、具体的な教育への取り組みも多く紹介します。

クリティカルシンキングは、教員・学生に関係なく、今を生きる人間にとって必須であることを再認識していただければと願っています。

■クリティカルシンキングのわが国の看護教育における浸透と課題——クリティカルシンキングを看護教員が身につける方策について……………野地有子

■授業にクリティカルシンキングを導入することとは……………久保田祐歌

■看護におけるクリティカルシンキングの重要性……………塚本尚子・船木由香

■現在の教育状況のなかにクリティカルシンキングをどのように取り入れてゆけばよいか……………高島尚美

■クリティカルシンキングの基礎の教え方……………三森ゆりか

■コーチングと比較して考えるクリティカルシンキングの重要性……………坪田康佑



Vol.54 No.5

2013年5月
特集

「狙い」に合わせた シミュレーション教育の方法

看護基礎教育の手法として、ますます注目を集める「シミュレーション」ですが、まだ体系的な方法論が示されるまでには至っておらず、各学校それぞれの工夫のもと実施されているのが現状です。しかし、なかにはタスクトレーニングに終始してしまっていたり、シミュレーションを行うこと自体が目的となってしまっていたり、その効果を十分に活かせていないと感じられている先生方ではないでしょうか。

そこで、今回はまず「そもそも、なぜシミュレーション教育が必要なのか」ということを基点にして、「狙い（何を学ばせたいか）」に応じたシミュレーション教育の方法を整理します。続いて、特にシナリオを用いたシミュレーションに焦点を当て、実践までのプロセスを詳細に解説していきます。これらをふまえてご紹介する実践例は、教育の一手法として効果的にシミュレーションを取り入れている先駆的なものばかりです。ぜひ、各々の「狙い」に合わせたシミュレーションを実施するための参考にいただければと思います。

■学生の学びをつないでいくためのシミュレーション教育の位置づけ……………小西美和子

■看護基礎教育におけるシミュレーション学習プログラムの設計と実践——シナリオ設計時のポイントと学生の学びを導く関わり方に焦点をあてて……………藤原史博

■講義・演習・実習のつながりのなかで行うシミュレーション教育——急性期看護学領域での取り組み……………大川宣容

■IDに基づいたシミュレーション教育の取り組み……………増山純二

■永島美香先生に聞く——こども看護領域におけるPBLに基づいたシミュレーション教育



【2013年4月号 (Vol.54 No.4)】

授業設計再入門

【2013年1月号 (Vol.54 No.1)】

基礎看護学を再構成する・1

看護の「基礎」とは何か？

【2013年3月号 (Vol.54 No.3)】

看護師国家試験合格率
100%の秘密

【2012年12月号 (Vol.53 No.12)】

“特定能力”をもつ看護師の
新たな役割とその人材育成

【2013年2月号 (Vol.54 No.2)】

基礎看護学を再構成する・2
看護の「基礎」を教えるとは？

【2012年11月号 (Vol.53 No.11)】

「複数受け持ち」実習を
より効果的に

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2011年5月号(Vol. 52, No.5)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2011年6月号(Vol. 52, No.6)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)をお願いします。